名城大学大学院理工学研究科建設システム工学専攻の名称の変更について（届出）

平成２８年４月２６日

文　部　科　学　大　臣　殿

学校法人　名　城　大　学
理事長　小 笠 原　日 出 男

このたび、下記の事項について、学校教育法施行規則第２条の規定により、別紙書類を添えて届け出ます。

記

・名城大学大学院理工学研究科建設システム工学専攻の名称の変更
（社会基盤デザイン工学専攻）

以　上

変更の事由及び時期を記載した書類

フリガナ 設置者	ガッコウホウジン　メイジョウダイガク 学校法人　名城大学
フリガナ 大学の名称	メイジョウダイガクダイガクイン 名城大学大学院
大学本部の位置	愛知県名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地
届出の内容	研究科の専攻の名称変更 （現在の名称） 理工学研究科 英訳名 (Graduate School of Science and Technology) → （変更後の名称） 理工学研究科 英訳名 (Graduate School of Science and Technology) 建設システム工学専攻 英訳名 (Division of Civil Engineering) → 社会基盤デザイン工学専攻 英訳名 (Department of Civil Engineering)

届出学部等の概要	届出学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	変更時期及び対象年次	所在地
	理工学研究科 社会基盤デザイン工学専攻	年 2	人 18	年次 人 －	人 36	学士 （工学）	平成29年4月 第1年次	愛知県名古屋市 天白区塩釜口一丁目 501番地

（1）名称変更の事由

近年、“美しい国土づくり”といった環境や景観の保全・回復への関心の高まりや、巨大地震やゲリラ豪雨など自然災害に対する防災・減災への社会的ニーズを背景に、環境や景観に配慮しつつ、防災上の観点にも立って地域社会のあり方を構想し、豊かな生活を支える社会基盤を構築できる人材に対する需要が高まっている。こうした近年の社会動向を踏まえ、建設分野における大学院教育には、地域社会における「まちづくり」の構想、社会基盤施設の機能と景観の設計、メンテナンス技術、ハードとソフトを融合した「防災・減災対策」の策定など、土木工学の幅広い教育研究領域を包含した「社会基盤のデザイン能力」を有する人材の養成が求められている。また、入学志願者に対して、修了後の進路として、従来から多かった社会基盤施設の建設技術者だけでなく、より広い視点から地域社会のあるべき姿を構想する技術系公務員や、都市・地域問題を解決するための社会開発・政策立案などを提案するまちづくりコンサルタント・地域シンクタンクなどといった幅広い分野への進路があることも明示する必要がある。

以上の観点から、安全で安心な市民生活と産業活動を支える社会基盤施設のデザイン、ならびに、社会基盤を通して豊かで快適な地域社会そしてライフスタイルをデザインする、高度な専門知識を備えたシビルエンジニアの養成を目的とする専攻であることを旨に、専攻名称を「社会基盤デザイン工学専攻」と変

更する。

なお、基礎となる名城大学理工学部建設システム工学科を、平成 25 年 4 月から社会基盤デザイン工学科に名称変更している。社会基盤デザイン工学科の在校生が大学院に進学し始める平成 29 年 4 月の入学生から新専攻名称を適用し、旧名称である建設システム工学科の出身者が多い平成 28 年度以前の入学生は現在の専攻名称を使用するものとする。

（2）名称変更の時期

平成 29 年 4 月 1 日

（3）在校生への対応

変更後の専攻名称の適用は、平成 29 年度入学生からとする。したがって、留年者も含めた在校生に対しては、従前の専攻名称（建設システム工学専攻）を適用し、授与する学位（修士（工学））にも変更は生じない。このことは、名称変更後速やかにガイダンスを開催し、併せて指導教員から説明し理解を得る予定である。また、名称変更に係る保護者への周知についてもホームページ、大学通信等広報媒体を活用して説明周知し理解を得る予定である。

（4）英語名称について

社会基盤デザイン工学専攻では、『穏健中正で実行力に富み、安全で快適な市民生活と産業活動を支える「社会基盤整備」ならびに「国土保全」を担う高度な専門知識を備えたシビルエンジニアの養成を行う』ことを人材の養成目的とし、教育・研究の柱をシビルエンジニアリング（日本では土木工学）としている。今回の名称変更においては、社会から本来とは異なるイメージで捉えられている「土木工学」という名称の使用は避け、シビルエンジニアリングの内容を他の言葉で表現した「社会基盤デザイン工学」という専攻名称とすることにした。そのため、「社会基盤デザイン工学」をそのまま英語に直訳するのではなく、専攻の教育・研究内容を明確にするため、英語名称を Civil Engineering とする。